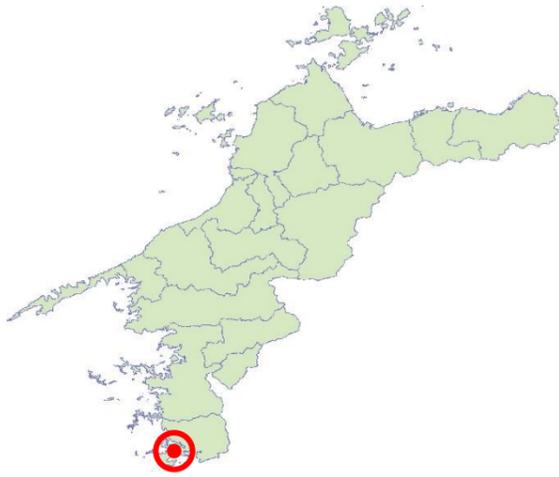


地震・津波等災害発生に備える防災体制の 確立を目指す取り組みを展開 愛南地区沿岸海難（津波）救助協議会

愛南町について

愛南町は四国の西南端、愛媛県の最南端に位置し、温暖な気候で知られています。

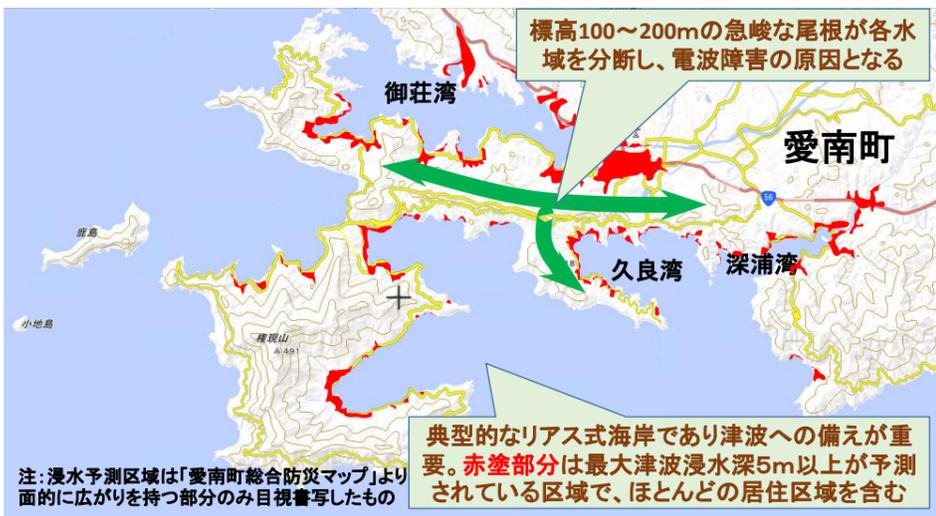
海岸部は典型的なリアス式海岸で、足摺宇和海国立公園の一部となっており、天然の良港や高水質な養殖場に恵まれています。最近では黒潮本流から近い強みを活かして高品質なカツオ等のブランド化等に力を入れています。



地形の特殊性と防災・災害対策の必要性

東日本大震災以降、東南海地震を含む災害の発生に社会的関心が高まってきています。リアス式海岸における津波の被害は大きく、愛南町においても海岸沿いの居住区域のほとんどが最大津波の浸水深5m予測範囲に入っています。一方、重要な通信手段である漁業無線に関しては、電波法改正に伴い、アナログ機器のデジタル化が進められつつあります。

地形が急峻なために災害時には避難路が制限され、また、無線通信の障害にもなるため、これらへの対策が非常に重要になります。



愛南地区沿岸海難（津波）救助協議会について

設立：平成25年11月8日

目的：無線機デジタル化を核とした海難救助知識の習得と広範な

災害への対応能力獲得

構成員：49名（愛南漁協・久良漁協組合員）

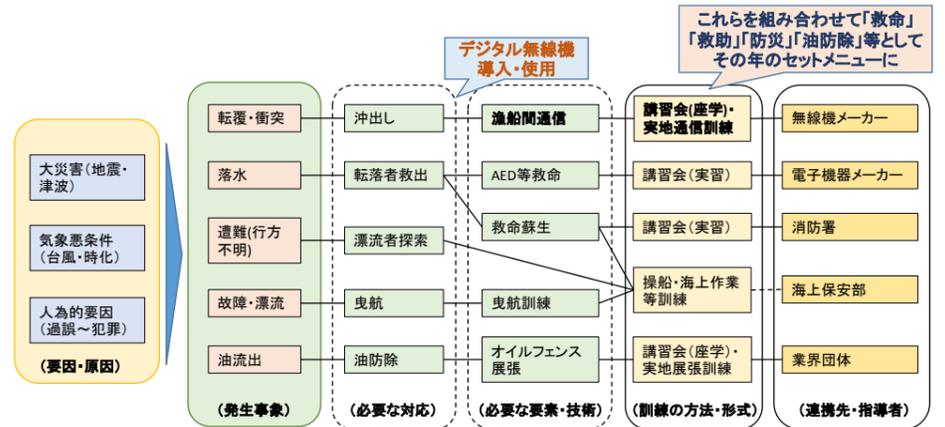
活動：活動項目及び今までの実績は下記の通りです。

年度	活動項目 (セットメニュー)	参加人数	参加数	活動内容											
				救命蘇生	AED	救命機器	漂流者探索	転落者救出	救命胴衣浮力	無線機使用	データ通信	3海域沖出し	曳航	油防除	
H25	海難救助	130	41	△	△	△		◎	◎	○	◎				
H26	海難防災	74	41			△	◎			○	◎	◎	◎		
	海難救命	78	-	○	○	○									
H27	海難油防除	135	40							○	◎	◎		△◎	
H28	海難油防除	49	-							○	◎			△	

凡例) △: 講習 ○: 実習 ◎: 海上訓練

多彩な訓練メニューの考案

災害対策や避難訓練は、想定事象や必要な対応、そのための技術や要素、連携先等を考える必要があります。漁業無線のデジタル化の問題も含め、それらを考えて訓練項目をセット化し、その年の訓練メニューとして実行し、実績を積み重ねてきました。



地域住民と連携した避難訓練の実現

平成29年度は、愛媛県による「シェイクアウトえひめ」(平成29年12月18日、11時に東南海地震発生を想定した県下一斉避難訓練)に参画する形で、初めて地域住民と連携し、今まで訓練してきた項目を組み合わせ、沖出しから曳航、救援物資の運搬に至る一連の災害対策訓練を実施しました。

No.	イベント・訓練項目	担当者	11時					12時			
			0分	10	20	30	40	50	0分	10	
	地震発生(想定)										
1	地震情報を文字情報にて発信	漁協(本部)									
2	沖出し訓練	漁業者									
3	避難訓練	地区住民									
4	航行不能船曳航訓練	漁業者									
5	救援物資搬入訓練(海上輸送)	漁業者									
5	救援物資搬入訓練(陸揚げ・中継)	漁協(本部)									
5	救援物資搬入訓練(受け取り)	地区住民									
6	炊き出し訓練	漁協(女性部)									



防災意識の喚起と参加者の意識改革

参加者からは、基本的に前向き・肯定的な回答が得られました。

